

連盟だより

ユニテ

佐賀県看護連盟

Vol. 19

平成26年12月

■筑後川昇開橋【諸富町】

かつて鉄道橋として、大型船の進行に合わせて中央のけたの部分を上下に可動させていたこの鉄橋も現在は遊歩道として整備されています。

●国指定重要文化財



写真提供：佐賀県観光連盟フォトランド



春の徐福サイクルロード



サイクルロード出発点にある徐福像

Unité
(ユニテ)

……「統一性」や「まとまり」、行動の「一貫性」などを意味するフランス語。

「1」や「1つ」を意味するun(アン)を語源とする。同じくフランス語のunion(ユニオン)がバラバラなものの寄せ集め的な結合を意味するのに対して、unité(ユニテ)は同質のもの、より純度の高い統一を表す。また、単一の基本単位を意味する英語のunit(ユニット)よりも抽象的、理念的な概念



輝く看護職のために 一步を踏み出そう!!

佐賀県看護連盟会長 岡部 洋子

寒さが身に染みる季節となりましたが会員の皆様お元気でしょうか。振り返りますと今年は広島県の豪雨災害や御嶽山の噴火など例年になく自然災害の多い年となり被災された会員の皆様にお悔やみを申し上げます。

さて近年、自由民主党 安倍総理は「女性が活躍する社会づくり」を目指されております。また看護界は皆様のご支援で3人の代議士を政界に送ることが出来て大活躍中です。

あべ俊子先生（農林副大臣）たかがい恵美子先生（厚生労働大臣政務官）石田まさひろ先生（財政金融委員会委員）と大変心強い状況です。おかげ様で60年続いた保助看法の業務の一部が初めて改正され、業務は拡大し「難易度の高い特定行為ができる事」や「手順書に基づいた包括指示行為で臨床推論などの判断ができる事」の法案が成立しました。

看護職は今追い風を受けています！！この機会を逃さず共に前進しましょう。

"ベットのサイドから声を発信しなければ現場は変わりません"

その為に看護現場の課題や政策を仲間と語り合い、そして共有し小さな事でも取組を始め一步を踏み出しましょう！！

看護の代表議員・地方議員と共に看護連盟は応援し活動しています。



今日のつぶやき

看護協会長 三根 哲子

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今年は、暑くない夏で、たまに雨が降れば各地で災害を招き、おまけに台風襲来。これ以上災害が発生しないことを祈るばかりです。

近年、災害時にはDMATをはじめとして多くの支援者が派遣されますが、看護協会の災害支援ナースの評価も大変高まっていることをご報告いたします。

さて、3年の長きにわたる活動の結果、6月18日に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律」… 何と長い名称でしょう … が成立し、来年10月から施行されることとなりました。「特定行為に係る看護師の研修制度」**修了者はふた桁万人が必要**ともいわれ、佐賀ではまだまだでは … 等とは言えない状況です。

業務として求められれば、看護職は積極的に研修を受講する覚悟をしておくことが求められることとなります。





スローガン「ベッドサイドから政治を変える」を実現するために

日本看護連盟会長 草間 朋子

2025年（2025年問題）を目の前に控え、解決しなければならない看護に関連した課題は山積しております。

日本看護連盟、佐賀県看護連盟ともに平成26年度のスローガンとして標記を掲げて、社会・時代のニーズに合った、すなわち国民目線に立った看護政策の実現を目指して活動を続けております。

「スローガン」は、連盟の活動の目的を簡潔に示したもので、実現に向けた活動をしていかなければ単なるお題目になってしまいます。まず、実践の現場、ベッドサイドから声を上げていただく必要があります。実践現場に横たわっているさまざまな看護に関する問題を、「課題」として取り上げる「気づき」が大切です。日常の業務に追われ、忙しい毎日をご過ごしていると、ともすれば、問題であるということに認識する感性さえ鈍くなってしまいます。日本看護連盟には、「現場の声」活用推進委員会を設置しております。この委員会に現場の声を届けていただき、組織として、改革に向けての方策を立案し、国会議員の先生方の協力を得ながら実現していくという、ボトムアップのプロセスが現実的です。

看護に関連した課題は、「勇気」と「気迫」をもって看護職自らが積極的に解決していかなければならないという認識・姿勢が、一人ひとりの看護職にも、組織にも求められていると思います。今回の保助看法の改正（特定行為に関する看護師の研修制度）は、まさに、看護の教育現場から問題提起をし、看護協会、連盟の力、国会議員の力を活用して実現した、看護界の連携・協力の賜物であると思っています。



ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

佐賀県看護連盟の皆様、いつも温かいお力添えを賜り心より感謝申し上げます。第2次安倍内閣改造にて、農林水産副大臣を拝命いたしました。

日本の農業の活性化こそが地方活性につながると信じ日々邁進しております。第187回、今国会の会期は、11月30日までの63日間の予定でございます。

農林水産省の危機管理として週末は在東京という在京当番があり、皆さまへご迷惑をおかけすることもあると思いますが、10年、20年、それに続く100年後の日本のことをも考え思いを込めながら、日々努力し政策をつくりあげてまいります。

また引続き看護職の労働環境の改善といった日々の看護に直結する課題や女性が仕事と家庭を両立しやすくするための施策（児童保育の法的整備）といった看護職を取り巻く諸課題に対してもこれまで以上に頑張ってお力添えを賜り心より感謝申し上げます。

看護職の皆様がやりがいをもって生き生きと力いっぱい看護に打ち込めるよう環境整備に努力してまいります。

佐賀県看護連盟の皆様、温かく心強いお力添えを心よりお願い申し上げます。





ごあいさつ

参議院議員 たかがい恵美子

今般、厚生労働大臣政務官を拝命いたしました。これまでお支えくださいましたみなさまのご厚情に感謝を申し上げますと共に、より一層精進して参ることをお約束いたします。

さて、現政権も誕生から間もなく2年となり、いよいよ公約の達成状況が問われる段階を迎えています。先の国会では医療介護推進法が成立し、三党合意に基づく社会保障制度改革プロセスも着実に歩を進めております。そしてこれからは私たち看護職能の適正評価と身分保障、新たな労働体系の構築について、冷静かつ科学的な議論を展開していかなければなりません。

また、昨年秋の国連演説で総理が「女性が輝ける国づくりを」と世界に発信したメッセージは、私たち看護職にも大きな勇気を与えています。

これからも、たかがい恵美子は、社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、生涯にわたり、看護職一人一人が堂々と働き続けることができる環境づくりを進めて参ります。



ごあいさつ

参議院議員 石田 まさひろ



佐賀県看護連盟の皆様、日頃より多大なるお力添えを賜りありがとうございます。今年も残すところわずかとなり、足早に一年が過ぎようとしています。

通常国会では「医療介護総合確保推進法」が成立しました。保助看法が改正され、特定行為に係る看護師の研修制度の創設と離職看護職の届出制が導入されました。特に特定行為に係る看護師の研修制度においては、保助看法制定以来初めて看護業務の範囲に踏み込んだ大きな改正となりました。

また、秋の臨時国会では地方創生と女性活躍推進が大きな柱となり、法案の審議が行われました。家庭・地域・職場において、またライフステージにおける様々な場面において、自分らしくと個々人の力が発揮できる社会を実現するための重要な国会となりました。

大きな変革の中、皆様が創意工夫し、よりよいケアのためのご尽力しておられることに心より敬意を表します。皆様が「今日もいい看護ができた！」と実感し、輝きをもって看護を行うことができるよう、国政の場で頑張ってください。

支部活動報告

1 支部

1 支部長 鉄 穴 佳 子



9月27日（土）17時40分より愛夢 かんざき（住宅型有料老人ホーム）ロビーに於いて、一支部の基礎研修会を開催致しました。

講師に連盟の岡部洋子会長を招き『ベットサイドから政治を変える』と題して連盟の成り立ちから始まり、看護師の夜勤手当を獲得した時の喜びのエピソードを聞きました。しかしこの時はまだ300円が付いた程度のことで、ラーメンを食べれば頂いた手当は無くなってしまう程でしたが、看護師は大変喜んだとの事でした。諸先輩たちが看護師の働く環境を良くする為に涙ぐましい努力と悔しい思いを国会に訴え続けて現在の職場があること、また我々の声を反映させるべく三人の看護師を国会に送っている。あべ俊子衆議院議員・たかがい恵美子参議院議員・石田まさひ

ろ参議院議員の国会での活躍ぶりを報告されました。そして「我々の職域を働き良い環境にする為の問題点を皆さん出してください、いろいろな問題点を拾い上げみんなの声を国会に届けなければ働く環境は良くならないのです。」と伝えられました。

会場に集まった方々から、『看護連盟は看護の職域を良くする為に働いてくださっている団体だったんだね。』と称賛の声を聞くことが出来ました。

二部では懐かしのアメリカンロックでエレキギターを入れ、ザ・ベンチャーズメロディーが流れた「心 癒される」と若かりし頃の自分の姿の記憶を辿る楽しい時間を持つことが出来ました。



2 支部

2 支部長 江 副 千 鶴 子



今年度は支部長、幹事長、幹事が交代し、なれないメンバーですが全員「輪」を大切に6名の役員で活動しています。

7月に第1回支部役員会を開催し、平成26年度の活動計画を立案、4支部との合同研修会を年2回と役員会を6回計画しました。

第1回合同研修会は、9月27日アバンセにて「ゆがみを直して、美と健康へ」のテーマで開催しました。

会員の皆様の参加ありがとうございました。

次回は、平成27年度2月14日に第2回合同研修会を心のケアをテーマで開催しますので皆様ぜひ参加してください。また、組織強化の目的で、より良い環境へ一人ひとりの力を結集し"数は力なり"と施設訪問を行っております。看護連盟の活動を一人でも多くの方に理解して頂き看護連盟会員の「輪」が大きくなるように活動しています。



3 支部

3 支部長 岡部 恵子



私たち3支部は、伊万里・有田地区の看護職で頑張っています。
今年度は、支部長、幹事長、幹事3名の5名の新役員で7月より活動を開始しました。

今年度の活動目標は、『入会者数が目標値に達すること』と『2回の研修会開催』です。その目標を達成するために担当地区の施設訪問、施設長さん方との懇談会等を企画し連盟活動に対する理解を深めていただこうと働きかけています。施設訪問では、各施設のお台所状況や看護専門職としての施設における待遇の格差を痛感しています。

もう一つの目標である研修会については、1回目を11月29日に開催しますのでそれに向け役員会を重ね準備しているところです。

7月はじめには、岡部会長さんと、福田前支部長さんとともに地区の自民党議員さん方を訪問し挨拶を交わしました。連盟活動に対し理解をいただいていることを実感いたしました。地域の方々の暖かい援助を頂くためにも活動をアピールし1人でも多くの仲間を増やしていきたいと思っております。新米の1年生支部長ですがよろしくお願いします。

4 支部

4 支部長 小澤 知江子



3連休、自然災害とはいえ台風の為予定されたことができず、楽しみにしていた子供さんもいたでしょうに、残念なことでした。

日々のお仕事ご苦労さまです。日頃から看護連盟にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、4支部では、役員会の2回目を6月8日、3回目を8月30日に行いました。

2・4支部合同研修会は、9月27日（土）に41名の方に出席して頂きました。始めに岡部連盟会長よりDVDによる基礎研修があり、受講者に修了書を渡しました。その後、久留米市で活躍されている、さかいカイロプラクティック院・坂井良徳先生に『ゆがみを直して、美と健康へ』のテーマで、肩こり、脊椎、骨盤のゆがみについて、講演と楽しい実演をしていただき、実演を受けている6人の会員は気持ち

よさそうでした。研修会はできるだけ会員の皆様にリラクゼーションできるものをと計画を立てています。ぜひ今後も参加いただければと思っています。

施設訪問については、本部よりアンケート依頼があり15施設を訪問しました。皆さん快くご返事いただきありがとうございました。

これからも微力ですが、皆さんの声を参考にして活動していきたいと思っています。宜しくお願いします。

5 支部

5 支部長 古川 津代子



平成26年7月5日土曜日に研修会を開催しました。初めに看護連盟岡部会長から2014年版の基礎研修DVDを見ながら看護連盟の歴史や役割について学びました。

昨年参議員となられた石田昌宏氏の最近の活躍に精神科入院中の患者さんの社会復帰に関する発言など、私たちの代表として3人の国会議員の方の活躍も話して頂きました。

その後、アクティブスペース智 代表 上妻智子先生によるヨガ体験をしました。

身体を前屈させて8割の人が足先に手が届かなくて体が硬いと悲鳴を上げていましたが、先生のリードで体がほぐれリラックスした気分になっていくとなんと手が床に着くようになりました。自律神経を活発に働かせて血液循環

を良くすると身体の内面から美しくなることの素晴らしさ、呼吸法の活用など、自分と向き合うことで素晴らしい時間を持つことが出来ました。時々思い出してヨガを実践してみようと思っております。上妻先生ありがとうございました。



唐津支部

唐津支部長 前田 真理子



一雨ごとに寒さも厳しくなって参りました。会員の皆様方には、御変りございませんか。日頃は、何かと支部活動にご支援ご協力ありがとうございます。

唐津支部では、9月の会員意識調査にともない各施設を訪問しました。その際、施設代表者の方に「施設リーダー」の選出をお願いしました。幹事さんとの連携はいいので、会員一人ひとりに支部運営が良くみえるように病棟単位にリーダー（連絡員）が必要です。

今後、第24回参議院選挙に向け新県執行部と連携を図りながら支部として会員にとってわかりやすい活動を目指します。

一般市民も参加できる研修会を平成27年2月24日に計画いたしました。心も体も癒されさらに楽しい研修会を企画しましたのでぜひ多くの方の参加をお待ちいたしています。

昭和34年日本看護連盟創立以来、今年で55周年を迎えます。諸先輩方の政策活動の歴史を後輩として正しく理解したいものです。

OB支部

OB支部長 東内 順子



7月19日にホテルマリターレ創世で40名出席のもと研修会を開催しました。

佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野助教 西田裕一郎先生に「運動、食事と認知症予防」というテーマでステップ台を使っての研修会でした。

認知症予防10箇条を紹介します。

①生き甲斐作って生涯現役 ②強いストレスを避け、楽しい生活 ③若い頃からストレス

への対処法をいくつも身に付けておく ④一日30分の有酸素運動 ⑤若い頃からの一日30分の昼寝の習慣

⑥緑黄色野菜（ホウレンソウ、レタスなど）とアブラナ科野菜（ブロッコリーなど）を多くとる ⑦青魚、海藻の摂取 ⑧赤ワイン ⑨楽しい食卓 ⑩新たな仲間との創造的活動

（福岡大学医学部神経内科学教室 山田達夫教授 監修）

予防を実践して若々しく生活をしましょう。



自民党さが女性局 中央研修会報告

佐賀県看護連盟 幹事長 倉守みどり



『政策に強い女性局を目指して』第12回政策研究会（中央研修会）が11月19日（水）・20日（木）に東京の自由民主党本部・東京消防庁にて開催されました。

看護職の代表・女性局長代理のたかがい恵美子参議院議員は『女性の健康の包括的支援に関する法律』の講演をされ、『女性の代弁をしてもらっている』『話がわかりやすかった』『綺麗だ』など出席者から称賛の声でした。「国政に看護職の代表を送って良かった」とつくづく思いました。

佐賀県看護協会・佐賀県看護連盟合同研修会

10月26日(日)に71名の出席で開催されました。非常に好評の研修会でした。2人の講師の講演内容の一部を紹介します。



輝く看護職を目指して ～輝きは自身が作り出すもの～

公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院
看護部長(認定看護管理者No.87)

高橋素子先生



看護職において輝くとは？(私見)

- ・人(患者も)から認められている
- ・職場内や組織内で愛されている
- ・活躍できる場を持っている
- ・自身が、強みと思えるものを持っている
- ・仲間(高めあう)と言える人がいる
- ・時には緊張感がある職場
- ・安心して業務に専念できる職場環境
- ・見た目や立ち振る舞い、ケア技術が美しい

チヤホヤも
25歳まで!
(自身の経験から)

「コミュニケーションの量=まめ」の一方法

- ①口を使う 口を使ってあなたの言葉で伝える **声かけカード**
「口まめ」
- ②耳を使う 両方の耳と5感全体を使って聴く **「聴きまめ」**
- ③足を使う 足と体を使って直接関わる **ミニカンファ**
「足まめ」
- ④筆を使う 時にはペンを持って書く **一言メモ**
「筆まめ」
- ⑤メールを使う 便利なメールや各種ツールを使う **「メルまめ」**

参考:週刊日本医事新報No.4705, P.109

モチベーションは**up&down**を
繰り返すことが普通(誰も)



☆downしたら自己調整する
(自分のやる気を出すものをみつけておく)

- 例)●人と雑談や遊びに行く
●元気な人と話す

看護職を続けてきたひとりとして言えること…

諸先輩が道筋を!!

- 活躍の場が拡大(データ提示)
- 主体的な看護が提供できる
- 看護学としての確立
- 治療の急激な進歩に伴う役割拡大



医療ほど政治(政策動向)に大きな 影響をうける業種はない!

法律(医療法・保助看法・診療報酬改定・税制)

急押し!

関連団体の動向



ゆえに、今後の看護者は広い視野を持ちそれらからの動向や情報から自施設や業務関連付けられる一般教養が必要。佐賀県看護連盟は頑張っています。

2013.6.21 日経新聞朝刊

離職看護師にも届け出義務付け

厚生労働省が2013.6.20創設案をまとめた

今まで

2年に一度都道府県に就業状況を届ける制度。

今後

潜在看護師(離職中)の詳細な状況把握する意味から創設案が出された。

決定! 2014.6.18 医療介護総合確保推進法

「看護師等の人材確保の促進に関する法律(人確法)」も改正され、2025年に向け必要とされる看護職を確保していくため、日看協もナースセンター時の強化に取り組むこととした。まずはセンターへ届け出の努力義務化をはかり、再就業を後押し。

『国政報告』



衆議院議員 **岩田かずちか** 先生
(看護問題対策議員)



●●● 新たな看護職員確保に向けた施策の柱 ●●●

(背景)

- 少子化が進展する中、今後必要とされる看護職員を確保するためには、抜本的な看護職員確保対策が不可欠。
- 離職中の者を含め、個々の看護師免許保持者の状況を的確に把握した上で、それぞれのニーズを踏まえた研修、情報提供、相談、職業紹介等の支援を実施していく仕組みや、働きやすい職場づくりによる離職防止の徹底等の取組が不可欠。
- 社会保障制度改革国民会議においても、同趣旨の指摘。

(対応策)

(1) 看護職員の復職支援の強化

- ・ 看護師等免許保持者について一定の情報の届出制度を創設し、離職者の把握を徹底。
- ・ ナースセンターが、離職後も一定の「つながり」を確保し、ライフサイクルを通じて、適切なタイミングで復職研修等必要な支援を実施。
→ **看護師等人材確保促進法改正**

(2) 勤務環境の改善を通じた定着・離職防止

- ・ 医師等を含めた医療スタッフ全体の勤務環境を改善するため、医療機関による自主的な勤務環境改善活動を促進するとともに、医療勤務環境改善支援センターが医療機関の取組をバックアップするシステムを構築。こうしたシステムを普及させることで、看護職員について定着・離職防止を推進。ワークライフバランスなどにも配慮した取組。
→ **医療法改正**

(3) 社会人経験者の看護職への取り込み促進

- ・ 18歳人口が減少する中、社会人を対象とした新規養成の拡充を目指す。→ **社会人の「中長期的なキャリア形成支援」(雇用保険法改正)**

取組の視点

女性割合が高い看護職が働きやすい環境整備を通じた「女性の活躍促進」

医療機関への雇用促進等による地域活性化の視点

新たな雇用の受け皿としての「看護」を考える(有能な社会人経験者の受け入れ促進等)。

今更誰にも聞けない.....。

○ポリナビ (Politc Navigators' Network)

「政治」「政策」の学びを通して自分達にできることを模索し、日本の保健福祉のさらなる充実をも目指す20代を中心とした会員の集まり。

○ワークライフバランス (WLB)

仕事と生活が両立し、看護職の労働条件を向上させ、優秀な看護職を育み質の高い医療を提供していくということ。

○DMAT (Disaster Medical Assistance Team)

災害急性期に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム。

「第5回ポリナビワークショップinさが」特集

佐賀ポリナビワークショップ実行委員長 樋渡 眞葵

平成26年度の青年部の活動として、6月28日(土)新人研修会と11月9日ミニバレーボール大会の2回を開催しました。

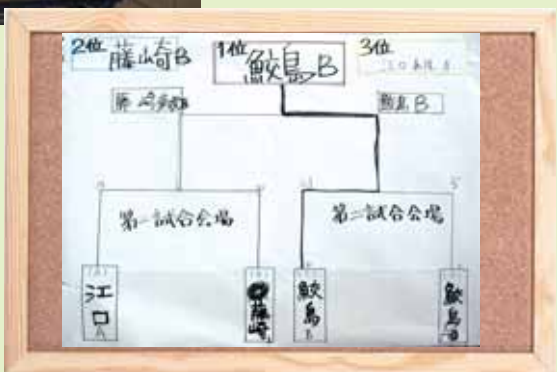
今回ミニバレーボール大会は16チームの参加があり、看護職だけでなく、医師、看護助手、理学療法士、介護福祉士等の医療、介護従事者が一堂に集まり、さらに子どもの応援もあって交流したことは大変有意義なことだったと思います。

何人かにインタビューしましたが、みなさん「楽しかった。他の病院の方と交流が出来て良かった。リフレッシュできた。初めてミニバレー大会に参加し、これを機会に連盟に興味を持ちたい」等々の声が聴かれました。

来年は選手としてまた応援団として是非参加してください。



第5回ポリナビワークショップinさが 佐賀県看護連盟 ミニバレーボール大会



第一試合会場

試合	対戦相手
①	A-B
②	C-D
③	A-B
④	B-C
⑤	D-E
⑥	A-C
⑦	B-D
⑧	C-E
⑨	A-D
⑩	B-E

第二試合会場

試合	対戦相手
⑪	A-B
⑫	C-D
⑬	A-B
⑭	B-C
⑮	D-E
⑯	A-C
⑰	B-D
⑱	C-E
⑲	A-D
⑳	B-E

第三試合会場

試合	対戦相手
㉑	A-B
㉒	C-D
㉓	A-B
㉔	B-C
㉕	D-E
㉖	A-C
㉗	B-D
㉘	C-E
㉙	A-D
㉚	B-E

第四試合会場

試合	対戦相手
㉛	A-B
㉜	C-D
㉝	A-B
㉞	B-C
㉟	D-E
㊱	A-C
㊲	B-D
㊳	C-E
㊴	A-D
㊵	B-E

ちよっとほっとしませんか!

- 第4回 ボディコンを 無理して着たら ボンレスハム
- 第8回 やせてやる! コレ食べてから やせてやる!
- 第12回 コストダウン さげぶあんたが コスト高
- 第14回 ドットコム どこが混むのと 聞く上司
- 第16回 タバコより 体に悪い 妻のぐち
- 第17回 「課長いる?」返ったこたえは「いりません!」
- 第19回 昼食は 妻がセレブで 俺セルフ
- 第20回 脳年齢 年金すでに もらえます
- 第21回 「空気読め!」それより部下の 気持ち読め
- 第25回 「宝くじ 当たれば辞める」が 合言葉

歴代第1位作品『サラリーマン川柳』
 第一生命保険株式会社より
 となりのトトロ
クリマージュウノミコト
 栗饅頭之命
 四万十川 信彦
 ネット不安
 小心亭主
 ごもっとも
 一夢庵
 満33歳
 のりちゃん
 事務員A



佐賀県看護連盟事務所
 どこにあるかご存知ですか?

佐賀県看護協会の建物の中にあります。玄関から入って左手奥。または、南入口から入ってすぐ右の部屋です。岡部会長が飴やお菓子を準備して皆様をお待ちしています。緑の鉢植えに囲まれた明るい部屋です。どうぞお気軽に立ち寄って下さい。



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

おかげさまで61年

クリーニングやリフォームなど、羽毛ふとんのアフターサービスは東洋羽毛へおまかせください。



東洋羽毛九州販売(株)長崎営業所

〒856-0046 長崎県大村市木場2-200-1

フリーコール：0120-104-203



アイケアグループ紹介

(親会社のアイ・ケイ・ケイ株式会社は伊万里迎賓館、鳥栖ララチャンスベルアミーなどの結婚式場を全国に15店舗運営。東証1部上場。)

佐賀市エリア
住宅型有料老人ホーム
アイケアレジデンス佐賀(45床)
デイサービス アイケア佐賀
住所 佐賀市木原1丁目24-39
電話 0952-27-8555

伊万里エリア
住宅型有料老人ホーム
アイケアレジデンス伊万里(48床)
デイサービス アイケア
住所 伊万里市二里町八擗1120
電話 0955-22-8888

唐津エリア 2015年3月オープン!
(東唐津駅より徒歩1分)
介護付き有料老人ホーム アイケア東唐津(30床)
デイサービス アイケア東唐津(開業準備室)
住所 伊万里市二里町八谷擗1120
電話 050-3803-8138



【おすすめ】

【信念…お客さま感動のために】

ご入居者様やご利用者様が、今この瞬間を楽しんで頂き、笑顔で生活をして頂けるよう、スタッフ一人一人が笑顔でお客さまの心に寄り添ったケアを実践していきます。

【理学療法士によるリハビリ】

各施設に常駐している理学療法士によるリハビリを実施! 自分の力で、できることを継続してできるように… 今できないことが、少しでもできるように… そんな力を引き出してくれます。

【おいしく、楽しい料理】

婚約で培ったノウハウを最大限に生かし、高齢者の皆様が生活の中で楽しみにされている「食べる」という事に、楽しみを持って頂けるよう、すべて手作りのお料理をご提供致します。



会員募集

ベッドサイドから
政治を変える!



看護連盟は看護職の代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉のため強力な活動を推進しています。

年会費 **8500円** (本部会費5000円・県会費3500円)

特別会員:看護協会会員の経歴を有し、未就業の方も入会できます。(会費8500円)

賛助会員:当連盟の主旨に賛同いただける方であれば、一般市民、介護職の方など、どなたでも入会できます。

佐賀県看護連盟会員

日本看護連盟会員

1,527名(2014年10月20日現在) 200,565名(2014年6月末日現在)

編集後記

師走となりました。公私共にお忙しくお過ごしのことと存じます。各支部長さん方の頑張りで、佐賀県看護連盟の事業も順調に進んでいます。

委員7名と会長にも参加していただき、ユニテ19号は出来ました。

編集委員

池田克士(広報委員長) 松永勇樹 江頭恵美子
山口ヨシノ 中村恵利子 名嶋すみ江 副田峰子

